

令和元年度台風19号災害支援事業 「リフレッシュキャンプ in 花山」

- 1 趣 旨 被災地域で生活している児童を対象に、国立花山青少年自然の家に被災児童を招き、キャンプを開催することを通して、被災児童の「心身の健康づくり」及び「心のケア」を図る。
- 2 主 催 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家
- 3 後 援 宮城県教育委員会 大郷町教育委員会 大崎市教育委員会
- 4 期 日 令和元年11月23日（土）～24日（日）〔1泊2日〕
- 5 参加者 大郷町立大郷小学校 1～6年の児童 15名
大崎市立鹿島台小学校 1～6年の児童 50名 合計65名
- 6 場 所 国立花山青少年自然の家
- 7 日 程

リフレッシュキャンプin花山 日程(案)

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
11月23日(土)				各学校出発	バス移動 到着・出合いのつどい	アイスブレイク	昼食	ベッドメイキング 休憩	花山ビンゴ (あなぐまコース)	休憩	休憩	夕べのつどい 夕食	休憩	お楽しみボラ企画	入浴	就寝準備		
11月24日(日)		起床・洗面	朝のつどい 朝食	部屋清掃	部屋点検	餅つき体験		アンケート記入 別れのつどい	自然の家出発 バス移動	各学校到着・解散								

8 活動の内容について

【11月23日（土）1日目】「アイスブレイク、花山ビンゴ、お楽しみボラ企画」





【11月24日（日）2日目】「餅つき体験、缶バッヂづくり体験（低学年）」



9 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：78% やや満足：18% やや不満：3% 不満：0%

参加者65名に対して行ったアンケートは、おおむね満足という結果であった。総合的にみて好評であったといえる。

(2) 参加者の声

- ・花山ビンゴでは、ひさびさに山に入って、見つけるのが大変だったけれど、気持ちよくて楽しかったです。
- ・下から玉入れではなく、上から初めて玉入れをして楽しかったです。
- ・餅つきでは、教えてくれるおばさんたちが来てくれて、すごくおいしくておなかいっぱいに食べられました。
- ・友達がいっぱいできたし、ボランティアの人とも仲良くできて楽しかったし、花山に来てよかったです。
- ・花山が初めてで緊張しましたが、職員さんやボランティアの人たちがやさしくて面白かったから安心しました。
- ・違う学年や学校との交流ができておもしろかったし、すごく良いと思いました。
- ・楽しすぎてたまらなかった。

(3) 成果

- ・「のびのびととにかく楽しんでもらうこと」をテーマに活動プログラムを検討し、「体を動かす、オリジナルの作品を作る、おいしく食べる」をうまく取り入れることができた。
- ・学生ボランティアがかかわることで、子供たちが安心して自然の家での生活や活動に取り組むことができた。

(4) 課題

- ・今回のような災害支援事業は、継続性が望ましい。そのためには、経費等の面で、地域や企業等の連携・協力が必要不可欠である。今後は、地域や協力していただける企業との支援体制について検討していきたい。

担当：企画指導専門職 安達 章美